

2024年5月31日

地盤品質判定士会中部支部 令和6年度総会 開催報告

主催：一般社団法人 地盤品質判定士会中部支部

担当：中部支部幹事一同

開催日時：2024年5月17日（金）15時00分～17時00分

開催場所：名古屋大学 減災連携研究センター1階減災ホール

開催形式：現地・WEB参加ハイブリッド形式

参加者：合計35名 [現地参加17名、WEB参加7名、委任状11名]

地盤品質判定士会中部支部では、2024年5月17日に、「令和6年度総会」を開催いたしました。定期総会の開催は、設立総会から数えて本年度で4回目となります。開催形式は、過年度と同様に現地・WEBのハイブリッド形式とし、委任状含む合計35名の出席者で本年度の議案の審議を進めました。

司会進行は藤代幹事が務め、千野支部長の開会挨拶により総会が始まりました。開会挨拶では、中部支部における住民相談件数の増加や、地盤品質判定士の試験会場として名古屋会場が新たに開設されたこと等に触れ、中部地域における地盤品質判定士の需要の高まりをより一層感じる挨拶となりました。

議案の審議では、議長に谷口顧問、議案の説明に桃井幹事長が指名され、4つの議案に対して審議が進められました。すべての議案において、賛同者拍手により賛成多数・異議なしとなり、原案の通り承認される運びとなりました。

総会の閉会挨拶は令和6年度より新たに副支部長に就任した居川副支部長が務め、本年度総会もつつがなく閉会を迎えました。

閉会后は、中部支部幹事3名により地盤に関する話題提供が行われました。いずれの講演も時間が許す限り質疑応答が交わされ、充実した話題提供となりました。

セッション1は「宅地の地盤相談(有償)の対応事例について」と題し、小嶋幹事より、有償を伴う地盤相談の具体的な対応事例や、対応を進める上で重要なポイントなどについて講演されました。

セッション2は「建築基礎の液状化判定について」と題し、小山幹事より、主に建築案件を対象とした洪積層の液状化判定に対する考え方や対応事例などについて講演されました。

セッション3は「複数の手法で測定した火山灰質粘性土の透水係数の差異に関する考察」と題し、斉藤幹事より、同一層において複数の測定手法により得られた透水係数の差異に対する複数視点からの考察について講演されました。

地盤品質判定士会中部支部では、今年度も建設・土木技術者の資質向上を支援するための講演会、講習会、一般市民の宅地地盤に関する啓蒙活動として宅地地盤相談会など、企画・開催を予定しております。住宅、宅地、盛土など関心を持つ沢山の方々のご参加を期待しています。

(次頁に総会の次第を示します)

一般社団法人地盤品質判定士会 中部支部
2024年度（令和6年度）総会

日時：令和6年5月17日（金）15時00分～17時00分

場所：名古屋大学減災連携研究センター（名古屋市千種区不老町名古屋大学内）

現地およびWEB参加によるハイブリッド形式

総会 次第

【総会】（15時00～15時30分）

開会あいさつ

地盤品質判定士会中部支部 支部長 千野 克浩

議長選出

審議事項

第1号議案 令和5年度事業報告（案）について

第2号議案 地盤品質判定士会中部支部規約の改定（案）について

第3号議案 令和6年度役員を選出（案）について

第4号議案 令和6年度事業計画（案）について

閉会あいさつ

地盤品質判定士会中部支部 副支部長 居川 信之

【話題提供】（15時30分～17時00分）

「宅地の地盤相談（有償）の対応事例について」

小嶋 広幸（地盤品質判定士会中部支部）

「建築基礎の液状化判定について」

小山 彰（地盤品質判定士会中部支部）

「複数の手法で測定した火山灰質粘性土の透水係数の差異に関する考察」

斉藤 倫久（地盤品質判定士会中部支部）

以上



会場の様子



司会進行の様子（地盤品質判定士会中部支部・藤代幹事）



開会挨拶の様子（地盤品質判定士会中部支部・千野支部長）



総会審議の様子（地盤品質判定士会中部支部・谷口顧問（右），桃井幹事長（左））



閉会挨拶の様子（地盤品質判定士会中部支部・居川副支部長）



令和6年度地盤品質判定士会中部支部幹事一同

